

【基本方針】

人口減少や少子高齢化の急速な進展に加え、新型コロナウイルス感染症のまん延が住民の日常生活に大きな影響を及ぼし、支え合い活動の休止や縮小などにより地域でのつながりは弱まり、さらには雇用が不安定となり生活困窮や社会的孤立、制度の狭間などで個人のみならず世帯単位で複数の課題を抱え総合的な支援が必要となるなど、社会を取り巻く環境の大きな変化とともに地域生活課題はさらに深刻さを増している状況にあります。

国では、重層的支援体制整備の構築による「地域共生社会の実現」や「持続可能な開発目標（SDGs）」が目指す「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」に向けた取り組みを積極的に推進しています。

気仙沼市域でも、生活困窮世帯や複合的な課題を抱える世帯などは、コロナ禍による取り巻く環境の変化によりさらに増加していることに加え、震災後の生活ステージの変化による心のケアや新たなコミュニティ再生などに対して、きめ細かい丁寧な対応が必要となっています。さらにそうした支援は、既存コミュニティの近隣での支え合いによるつながりづくりなどでも必要性を増している状況となっています。

このような状況を踏まえ、本会は、地域住民及び地区社協等の福祉組織・関係者の協働により地域生活課題の解決に向けて取り組んできましたが、引き続き、平成31年度に気仙沼市と連携して策定した「第3期地域福祉活動計画」を着実に実行し、地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる住民を主体とした「ともに生きる豊かな地域社会」をめざしていかなければなりません。

令和4年度は、活動計画推進の4年目にあたり、気仙沼市とのパートナーシップのもと、社協のもつ相談からサービス提供までの総合的な生活支援力と見守りやたすけあいができる地域ネットワークを活かした包括的な支援体制の構築をめざします。

多様かつ複合化している地域生活課題に迅速に対応するために、地区社協等の関係団体や機関等との協働を基盤とし、権利擁護や生活支援、質の高いサービスの充実に努め、それらを有機的に連携させることで、地域福祉のさらなる推進を図ります。

本会の財政状況は、介護保険事業等の減収による大変厳しい経営状況が続いていることを踏まえ、組織改革に着手し、組織再編のほか、事業の効果測定やコスト把握による事業評価を適切に行いながら事業の方向性を見定め、財政の安定化に向け経営基盤を強化します。

本会としては、地域社会を取り巻く環境を十分に認識し、ガバナンス（経営規律）の強化と法令遵守の徹底、職員人材育成の強化に取り組むとともに、将来を見据え持続可能な組織を確立していくため、経営状況を適切に判断して責任と透明性のある運営に努め、社会的使命を果たしてまいります。

【重点目標】

1 住民主体の地域福祉活動の推進

地域住民を主体に地域のあらゆる関係者が参加・協力し、「ともに生きる豊かな地域社会」の実現に向けて、地域福祉活動の基盤となる地区社協の活動支援の強化とともに、福祉教育を通じた地域福祉活動を担う人材の育成や地域生活課題が身近な地域で解決できる仕組みづくりなどに取り組みます。

(1) 地域福祉活動推進のための担い手育成の強化

地域福祉活動を推進していく中で、地区社協をはじめとする地域福祉の要となる担い手不足に直面しており、新たな担い手の育成は、どの地域においても重要課題です。ひとづくりは幼少期からの福祉教育の地道な取り組みが必要であることから、学校や地域を巻き込んで、すべての人がかけがえのない存在で互いに支え合う豊かな福祉観を育めるよう取り組みます。

(2) 地区社協等の活動支援

活動計画では、見守りや声かけを行う隣組などの近隣や自治会を小地域福祉活動の基盤として、地区住民等が主体的に地域生活課題の解決に取り組むことができる体制の構築を目指し、その中核となる「地区社協」活動を推進しています。このことから16の地区社協活動に対し、助成事業をはじめ、相談や職員派遣など必要な支援を本会業務の大きな柱と位置付け強化します。

さらには、新規や既存の各コミュニティでの支え合う関係やつながりの再構築に向けた取り組みも、地域特性に配慮しながら時機を逸しないように進めていきます。

(3) 生活支援体制整備事業の充実強化

互助を基本とした地域の多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を推進するとともに、支援ニーズのコーディネート機能を担い、支えあいの体制づくりの充実・強化を図ります。

支え合いの大切さを伝える啓発活動を充実させながら、地域資源の把握に努め、課題解決に向けた地域での様々なネットワークづくりに取り組みます、さらに、地区社協における話し合いや活動の場づくりを行い、フレイル予防と高齢者の社会参加の促進を図ります。

こうした取り組みに重要となるのが地域福祉を推進するための「地域生活課題を解決し、地域づくりを進めるコーディネート機能」であることから、地域支え合い推進員はもとより本会職員の個別支援と地域支援を一体的に提供できるソーシャルワークの専門性を強化します。

2 共生社会の実現に向けた取り組みの拡充

地域住民の多様化・複合化したあらゆる地域生活課題を総合的に受け止め、地域において、誰もが地域社会の一員として尊厳をもった生活が送れるよう、生活支援に向けた相談・支援活動、日常生活自立支援事業等の権利擁護支援、情報提供等を強化します。解決に向けた地域住民の主体的な取り組みによる地域での生活支援をはじめ、医療や保健、就労、住まい、産業、防災など福祉以外の幅広い関係者が協働する支援体制を構築していきます。

また、潜在化しがちな制度の狭間にある課題も丁寧にくみ取り、常に事業展開を通じて地域生活課題を捉え直し、地域住民やあらゆる団体・組織に働きかけ、新たなサービスや活動を創出しながら共生社会の実現を目指します。

3 介護保険事業・障害者福祉サービス事業の質向上と健全経営

本会の財政基盤を支える介護保険事業や障害福祉サービス事業は、近年の利用者の減少に伴い報酬の減収が続いており、制度環境の変化に備え、将来を見据えた経営に取り組みます。

具体的には、常にサービスの質向上やニーズに応じた相違工夫によりサービスを改善し、地域住民に支持・信頼されるサービス事業者となれるよう取り組みます。また、本会の使命に基づき事業の効果測定やコスト把握による事業評価を適切に行いながら事業の方向性を見定め、必要な取り組みを検討し、実行します。

4 組織改革と経営基盤の強化

変化の厳しい時代環境の中で、地域社会に責任をもって貢献していくために、組織の理念や目標、体制などを今一度再確認し、持続可能で責任ある自律した組織運営に努めます。そのために、社会福祉法人に求められているコンプライアンスの徹底を図るとともに、組織体制の抜本的な改善と介護保険事業等の効果的で効率的な自立経営に努め、財政基盤の強化を図ります。

(1) 持続可能で責任ある組織経営

地域に開かれた組織としての透明性の確保を図り、あらゆる関係者との参加と協働を徹底し、理事会や評議員会、監査会等により責任ある組織的な判断に基づく経営を行うとともに、環境の変化に対応し、計画的に事業を展開していきます。さらに、すべての役職員は高い倫理意識を保持し、日常のあらゆる活動において法令遵守を徹底し、地域の信頼を得られるよう組織運営に取り組みます。

(2) 組織の見直しと経営基盤の強化

本会の財政状況は、数年にわたって厳しい状況が続いていることを踏まえ、組織全体の抜本的な改革として、組織再編による組織基盤の強化を図るとともに、適切な事業評価を実施し、収益構造を確立する中で財政基盤の強化を図っていきます。

1. 法人運営事業

執行機関としての理事会、議決機関としての評議員会、業務執行及び財産状況を監査する監査会を実施し、それぞれの役割や責任を明確化し、本会の経営・運営の充実強化を図ります。

| 事業名 | 内容 |
|-------------------|--|
| 理事会及び評議員会の開催 | <ul style="list-style-type: none"> ・理事会 定例年3回開催し、法令や定款に基づき、業務執行上の重要事項を審議します。理事定数は、13名以上16名以内。 ・評議員会 定時評議員会及び定例年1回開催し、地域社会の総意をもって地域福祉を推進します。評議員定数は、28名以上33名以内。 当初予算額 627,000円 |
| 監査会の開催 | 理事の業務執行や事業の健全経営や透明性を図るため、監査規程を定め定例年2回監事による監査を行います。監事定数は、3名以内。 当初予算額 168,000円 |
| 苦情解決責任者及び第三者委員の設置 | 本会が提供する福祉サービスに対する苦情に適切に対応し、利用者の満足感を高め、利用者個々の権利を擁護し、利用者の苦情を円滑かつ円満に解決します。また、研修会への参加等により、資質の向上を図ります。 当初予算額 15,000円 |
| 評議員選任・解任委員会の適時開催 | 評議員に欠員等が生じ、各地区や団体からの推薦書が提出された際に、速やかに評議員選任・解任委員会を開催し、体制の整備を図ります。 |
| 委員会の開催 | 社協運営に関する意見を聴するため、企画経営委員会、地域福祉推進委員会を開催します。 |

2. 地域福祉事業

地域福祉活動計画に基づき、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指すとともに、地域福祉活動の充実に努めます。

| 事業名 | 内容 |
|-------------|--|
| 地域福祉活動計画の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼市社協地域福祉活動計画推進委員会の定期的な開催により、第3期活動計画の進捗状況の点検・評価等を行います。また、「SDGs」推進や「新しい生活様式」への順応等、必要に応じて取り組んでいきます。また、令和3年度末で委員の任期が終了することから、市と調整し新委員の体制で進めます。 ・気仙沼市社協地域福祉活動計画推進連絡会議を開催し、各地区社協の代表委員において、第3期活動計画推進に向けての具体的取組みの点検・評価、事業推進に向けた意見交換等を行いながら、地域の課題解決力の向上を図ります。また、令和3年度末で委員の任期が終了することから新委員の体制で進 |

| | |
|------------------|---|
| | <p>めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画推進への職員の積極的な関りと合わせ、次期計画策定に向け市民・地域・事業者等の活動状況や課題把握等に努めます。 <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 566,000 円</p> |
| 地区社協活動への支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の推進を図るため、地区社協会長会議を年4回開催し、情報共有と意見交換を行ないます。特に小地域福祉活動や生活支援体制整備事業等、地域での支え合い活動の充実に向け、中核となる地区社協の支援に取り組みます。 ・役員等対象の研修会を開催し、地域福祉を牽引するリーダーや活動者の育成に努めます。 <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 471,0000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協が実施する地域・在宅福祉に関わる自主的な事業へ活動費を助成し、地域福祉活動の促進を図ります。 <p>当初予算額 法人運営事業の内 2,223,000 円</p> |
| 小地域福祉活動の推進 | <p>誰もが地域の中で安心して生活ができるよう住民同士が協力し、見守り、助け合い、支え合う小地域福祉活動の推進に努めます。また、生活支援体制整備事業と支えあう地域づくりという目的が合致することから、連携、協働しながら推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協圏域での住民懇談会の開催により、地域の福祉課題や地域福祉活動の情報交換、意見交換等を通して、地域課題解決に向けた住民主体の支えあい活動につながるよう支援に努めます。 ・地域福祉推進フォーラムを開催し、地域で抱える課題解決に向け住民や関係者がそれぞれの役割を考える機会とします。 ・支援を必要とする方を近隣等で見守り支え合う、小地域福祉ネットワーク活動を推進します。 ・ヘルプカードを広く周知し、日常や災害発生時に援助や支援が必要な方などの希望者に継続して配付します。また、必要な時に援助が受けられるよう市民の理解促進を図ります。 ・地域支え合い活動推進モデル地区社協を指定し、住民が元気に活躍できる地域づくりと支え合いの活動の充実・強化を図ります。 ・コロナ禍でも地域のつながりが維持できるよう、新しい生活様式を取り入れた活動の提案を行いながら、活動の工夫や新しい取組みを地域が主体的に行えるよう地域支援事業に取り組みます。 ・小地域福祉活動補助金を交付し、活動の円滑な運営を図ります。 <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 1,857,000 円</p> |
| 地域包括ケアシステムの構築と推進 | <p>構成団体と連携・協力し、地域包括ケアシステム構築に積極的に取り組み、気仙沼市地域包括ケア推進協議会で策定したアクションプランの推進を図ります。</p> |

| | |
|---------------------------|--|
| <p>広報・啓発</p> | <p>社協だよりやホームページ、LINE等により、情報発信に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「気仙沼市社協だより」を年6回（5月、6月、8月、10月、12月、2月）発行し（全戸配布）、地域活動の紹介や福祉サービスの情報発信を行うことにより、住民の地域福祉活動の啓発と参加を促進します。 ・ホームページによる情報発信 ホームページを活用し、地域の福祉活動や福祉サービス、事業の紹介、ボランティア情報等幅広い分野の情報発信を行います。 ・LINEによる情報発信 タイムリーな情報発信手段として、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）のLINEを活用して、研修・講座や活動内容等の周知と福祉活動等への参加機会の拡大に努めます。 ・オリジナルキャラクターによる啓発 社協オリジナルキャラクター「あかりちゃん」を様々な形で活用し、社協や地域福祉活動の啓発等に努めます。 ・当初予算額 福祉育成援助活動事業の内 2,666,000円 |
| <p>社会福祉大会の開催</p> | <p>ともに生きる豊かな地域社会づくりの実現に向けて、住民が地域福祉活動への理解を深め参画する機会とするとともに、永年にわたり社会福祉の発展に尽力いただいた方々を表彰し、感謝の意を表すことを通じ、地域福祉のさらなる推進を目指します。</p> <p>当初予算額 社会福祉大会・表彰関連事業の内 1,397,000円</p> |
| <p>本吉地域福祉まつり</p> | <p>『みんなでいろんな輪をつくろう』をテーマに、本吉地域の生活文化や様式が同じであるミニ社協（または地域振興会）単位での「地域の福祉まつり」として地域の主体的な開催を働きかけます。地域の福祉まつりは、年間を通して地域住民が企画運営や参加などの様々な立場で実践活動に関わっていただけるような仕組みをつくることで地域のつながりをつくり、たすけあいやささえあいの地域福祉活動へのさらなる広がりを目指して、その活動を支援します。</p> <p>開催月：随時開催。</p> <p>当初予算額 福祉育成援助事業の内 359,000円</p> |
| <p>高齢者交流会</p> | <p>高齢者の一人暮らし及び高齢者のみの世帯を対象に、生活の質の向上と仲間づくりやつながりづくりの機会となる事業を、民生委員・児童委員やボランティア等関係団体と連携しながら企画し、高齢者の健康維持のため交流会を実施します。</p> <p>当初予算額 老人福祉事業の内 30,000円</p> |
| <p>本吉地域ひまわり会 交流事業</p> | <p>新しい福祉まつりの一環として慣れ親しんだ自分達の地域で、世代間交流の機会づくりを推進するための住民の実践活動を支援します。また、本吉響高等学校と連携し、一人暮らし高齢者へ交流機会の提供と仲間づくりを目的とした交流会を年1回実施します。</p> <p>実施月：本吉響高等学校交流は12月、地域では随時開催</p> |

| | |
|---------------------|---|
| <p>障害者福祉の推進</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者福祉活動事業（障害者との交流事業） 当事者の社会参加を促進するとともに、地域の方々との交流を通して、相互理解を深めることを目的に専門機関と連携し障害者福祉活動に取り組みます。また、当事者と交流できるような内容の講座やフォローアップ研修を開催します。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 69,000 円 ・ 録音サービス事業 視覚障がい者等への情報提供の一環として、朗読奉仕グループや高校生ボランティア等の協力により「広報けせんぬま」や「社協だより」等を朗読録音し、希望者に配付することにより、行政情報や地域福祉情報などの必要な情報発信に努めます。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 11,000 円 ・ 点訳サービス事業 視覚障がい者への情報提供の一環として、ボランティアの協力を得ながら点訳サービスを行うことにより、行政情報や地域福祉情報等の必要な情報提供に努めます。また、ボランティアや利用者の現状の確認を行うとともに、適切な情報提供媒体についての検討を行います。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 10,000 円 |
| <p>ガイドヘルパー派遣事業</p> | <p>新しい生活様式に配慮しつつ、視覚障がい者の社会生活を支援し、視覚障がい者の社会生活範囲の拡大と福祉の増進を図ることを目的に、ガイドヘルパーの派遣を行います。また、ガイドヘルパー養成講座等を開催し、人材の育成に努めます。 当初予算額 障害児者福祉活動事業 280,000 円</p> |
| <p>地域で子育て支援交流事業</p> | <p>子育て世代と地域の繋がりづくりを目的に、地域組織と連携・協働したイベント等の事業を実施します。また、事業を通して地域活動の重要性の周知や参加を呼びかけながら、地域で子どもを育てる環境づくりに取り組みます。 当初予算額 児童青少年福祉活動事業の内 108,000 円</p> |
| <p>善意銀行の運営</p> | <p>市民からの多様な善意の預託を受け、地域生活支援及び住民参加による地域福祉の推進に資するよう効果的な活用を努めます。 当初予算額 520,000 円</p> |
| <p>屋内ゲートボール場の運営</p> | <p>管理運営委託先である気仙沼市ゲートボール協会と連携し、適切な施設の維持管理に努めるとともに利用者の感染症対策に努め、市民の健康増進とスポーツ振興及び福祉向上を目指します。 当初予算額 927,000 円</p> |

| | |
|---|--|
| <p>気仙沼市市民福祉センター管理・運営</p> | <p>気仙沼市市民福祉センター条例及び指定管理に係る基本協定書に基づき、社会福祉を目的とする市民相互交流及び高齢者並びに障害者の自立促進及び健康増進を図るため、本会及び福祉団体等が連携・協働して事業を推進し、センターの効果的な活用とともに、施設の適正かつ円滑な運営に努めます。</p> <p>当初予算額 16,350,000円</p> |
| <p>気仙沼市唐桑保健福祉センター・気仙沼市福祉の里野外活動施設管理・運営</p> | <p>気仙沼市保健福祉センター条例及び気仙沼市福祉の里野外施設条例並びに指定管理に係る基本協定書に基づき、市民の健康保持・増進及び地域福祉の推進を図るため、施設の適切な管理運営に努めます。また、地域福祉及び地域保健活動の拠点として、利用者への感染症対策の徹底により安心安全にも配慮したセンター及び野外施設の効果的な利用を図られるよう努めます。</p> <p>当初予算額 13,593,000円</p> |

3. ボランティアセンターの運営

地域にとって新たな支え合いの担い手となるボランティア等への一層の支援や育成により、地域福祉活動の活性化を図ります。

| 事業名 | 内 容 |
|----------------------------------|--|
| <p>ボランティアセンターの充実とボランティア活動の推進</p> | <p>福祉やボランティア活動への理解と関心を深め、参加を促進することにより、住民参加による福祉のまちづくりを目指すことを目的とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア講座の開催 ボランティア講座を開催し、ボランティア活動者のすそ野を広げるとともにフォローアップを行い、住民参加の福祉のまちづくりを広めます。また、市内のボランティア同士の交流を通し、連携した福祉のまちづくりに取り組むきっかけづくりを行いません。 ・ボランティアの相談、ニーズ受付、調整、紹介業務 随時の相談に応じ、人とのつながりの中で共に豊かに暮らすことのできる地域づくりに理解を深めることができるよう、様々な福祉体験やボランティア活動の機会を提供します。 ・ボランティア団体等への各種情報誌の提供 各種情報誌や助成事業等の情報提供により、ボランティア団体の活動状況の周知とボランティアが活動しやすい環境づくりに努めます。 ・災害ボランティア 大規模災害に備え、災害ボランティアセンター設置運営訓練等を開催し、機能強化に努めます。 ・ボランティアへの支援 ボランティアの活動中の事故・怪我に備え、ボランティア保険への加入促進に努めるとともに、保険料の一部を補助します。 <p>当初予算額 ボランティア活動育成事業の内 1,652,000円</p> |

| | | |
|--|----------------|-----------|
| | ふれあいのまちづくり事業の内 | 315,000 円 |
| | ボランティアセンター事業 | 223,000 円 |

4. 福祉教育

市内小・中学校、高校を対象に、体験や交流活動を通じて福祉のこころを育むことを目的に福祉・ボランティア活動を推進し、児童生徒への福祉教育・学習機会を提供します。

| 事業名 | 内 容 |
|---------|--|
| 福祉教育の推進 | <p>地域と連携した福祉学習の開催、擬似体験や認知症に関する福祉学習プログラムの提供、ボランティア活動体験等の支援を積極的に行うことで思いやりの気持ちを育み、地域で学び合う中で福祉意識の醸成と支え合う地域社会づくりに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉教育活動費補助金交付事業 学校教育における福祉活動への活動費の補助により、継続した福祉教育、ボランティア学習を支援します。また、取り組みやすい活動事例を紹介するなど、より利用に結び付く仕組みづくりを目指し、教育委員会等と調整を図りながら、担当教諭を対象とした情報交換会や研修会を開催するなど、福祉教育の一層の推進に努めます。 ・福祉教育、企業、団体への職員派遣事業 機会を捉えて市社協職員等を派遣し、地域活動に対する意識の啓発と地域における福祉人材の育成や福祉への理解者の拡大等を図ります。 ・行事参加協力調整事業（高校生ボランティア等の活動調整） 市内の福祉施設等からボランティアの派遣を依頼された際に、市内の高等学校及びボランティア団体の協力を得てボランティアを募り、ボランティア意識の啓発と福祉への理解と協力が深まるよう努めます。 ・敬老作文コンクール事業 市内の小学生を対象とした敬老作文コンクールを実施し、児童の高齢者に対する理解を深め、敬老の心を培います。 <p>当初予算額 ボランティア育成活動事業の内 414,000 円 児童青少年福祉活動事業の内 296,000 円</p> |

5. 援護活動

支援が必要な世帯の生活の安定及び地域課題解決に向けた団体の活動が推進するよう支援します。

| 事業名 | 内 容 |
|--------|---|
| 援護活動事業 | 市内で発生した住宅火災及び浸水被害による被災世帯に対し、その生活の安定に資するよう迅速な見舞金等の贈呈に努めます。 |

| | |
|--------------------------------|--|
| | 当初予算額 福祉育成援助活動の内 30,000 円 |
| 歳末たすけあい募金 配分事業 | 気仙沼市共同募金委員会が実施する歳末たすけあい募金運動に寄せられた市民の善意を、住み慣れた地域で安心して暮らしていくための様々な支えあいの一助となるよう配分します。実施に当たっては、行政等と連携し、民生委員・児童委員及び地区社協等の関係団体の協力を得て、地域の課題に即した活動への支援等を行ないながら、募金の趣旨に沿えるような配分に努めます。 当初予算額 7,400,000 円 |
| 交通・海難等遺児に 対する就学支援費の 支給事業 | 交通事故・海難事故・労働災害及び病死（不慮の事故を含む。）により、扶養していた父母の一方または両方が死亡した満 18 歳以下の高校在学までの方に民生委員を通じ、就学支援費を支給することにより、相談しやすい環境づくりに努めます。 当初予算額 児童福祉活動推進事業の内 335,000 円 |

6. 生活支援・障害福祉事業

(1) 生活支援事業

住み慣れた地域で安心して生活ができるよう地域住民のあらゆる地域生活課題を受け止め、地域での生活支援に向けた相談・支援活動や権利擁護支援等に取り組みます。

| 事業名 | 内 容 |
|---------------|--|
| ふれあい相談センターの運営 | ふれあい相談センター（生活相談所）において市民の課題解決に向けた相談を受けます。地域に出向いた移動相談実施のほか、相談員の各種研修会への参加や連絡会議の開催等、地域ニーズを捉えながら重層的な支援ができるようふれあい相談センター（生活相談所）機能の強化を図ります。 ・気仙沼地域 気仙沼市社会福祉協議会本所にて、月曜日から金曜日（木曜日を除く）午前 9 時から午後 3 時まで開設します。 ・本吉地域 気仙沼市社会福祉協議会本吉支所にて、毎週月曜日午前 9 時 30 分から午前 11 時 30 分まで開設します。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 1,698,000 円 |
| 生活福祉資金貸付事業 | 宮城県社会福祉協議会から「生活福祉資金貸付事業」を受託し、低所得世帯等の経済的自立と生活の安定が図られるよう貸し付けに関する相談と担当民生員や関係機関と連携を図りながら、必要な相談支援を行います。また、新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付の債権管理業務が始まることから、宮城県社会福祉協議会と連携し情報共有と相談支援に取り組みます。 生活困窮者自立相談支援事業所等とより一層連携を図りながら、世帯の自立に向けた支援に取り組みます。 事業活動収入当初予算額 3,802,000 円 |

| | |
|--|---|
| 生活安定資金貸付事業 | <p>低所得世帯に対し、緊急に必要な小口の生活資金を貸付けることで、生活の安定が図られるよう担当民生委員と連携し、世帯の自立支援に努めます。また、担当民生委員と情報の共有を図りながら、償還への働き掛けと併せ、生活課題の解決に向けた取り組みを行います。</p> <p>貸付金当初予算額 250,000 円</p> |
| <p>まもり一ぶ気仙沼・南三陸（気仙沼・南三陸地域福祉サポートセンター）</p> <p>日常生活自立支援事業</p> | <p>判断能力が十分でない方への定期的な訪問活動を通して、利用される個人の権利擁護と適切な福祉サービスの利用、日常的な金銭や書類等の管理をサポートし、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう支援します。</p> <p>また、関係機関とのネットワークを活用した支援体制の構築や各事業所に対する本事業の共通理解を進めるとともに、専門員と生活支援員を積極的に雇用し、研修等を通して、地域の権利擁護人材の育成及びサポート体制の確立、事業実施主体である宮城県社協との事業の整合性を図りながら、利用者の権利擁護と本事業の実施に努めます。</p> <p>事業活動収入当初予算額 8,969,000 円</p> |

（２）指定障害福祉サービス事業

障害者総合支援法等の関係法令を遵守し、気仙沼市障害者通所施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市及び近隣市町村に居住する障害のある利用者及び保護者の意思、人格を尊重し、心身の特性を踏まえた適切なサービスを提供するとともに、利用者が有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう適切な支援に当たります。また、職員研修を通して、職員の資質向上と法令遵守の徹底による適正な事業運営を推進します。

| 事業所名 | 内 容 |
|---------------------------------|--|
| <p>気仙沼市松峰園 （就労継続支援B型事業）</p> | <p>利用者が自立した社会生活を営むことができるよう、生産活動その他の活動の機会を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、指導を適切かつ効果的に提供するよう努めます。また、利用率の増加を図るため、毎月臨時開所日を設けて、安定経営に繋がるよう努めます。生産活動については、木工製品及び菓子製品のカタログ販売を行うとともに、外部販売の拡充に努め、目標工賃達成指導員を1名配置し給付費及び工賃が増額になるよう努めます。</p> <p>障害福祉サービス等事業収入当初予算額 67,453,000 円</p> |
| <p>気仙沼市みのりの園 （生活介護事業）</p> | <p>利用者一人ひとりが安心して住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう、関係機関と連携を図り、施設での活動を通じて生活経験を重ねながら、自らが抱える問題の解決や生活の質の向上を目指します。職員は、障害者虐待への意識付けや法令等に関して役割に責任を持ちながら適切に対応し、利用者の各年齢層への配慮、障害の特性や心身の状況に応じた健康管理、排泄及び食事等の介護、生産活動等適正なサービスの提供に努め、施設と地域住民とのふれあい交流活動に取り組むことにより、地域の身近な福祉施設を目指しま</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>す。さらに衛生管理を徹底し感染防止に努めるとともに、臨時開所により介護者家族の支援と経営の健全化を目指します。</p> <p>障害福祉サービス等事業収入当初予算額 51,902,000 円</p> |
| <p>気仙沼市マザーズホーム (児童発達支援)</p> | <p>障害特性や年齢に配慮し、個人ごとの発達課題を見極めながら、身近の自立に向けた身体作りや手先の器用性を高める活動に重点を置いて取り組み、集団生活での適応能力を育てるように努めます。また、並行保育先や保健師と連携を図りながら、保護者支援や兄弟支援にも心掛け、安心できる療育の場の提供に努めます。</p> <p>障害福祉サービス等事業収入当初予算額 23,632,000 円</p> |
| <p>気仙沼市マザーズホーム (放課後等デイサービス)</p> | <p>子どもの自己選択や自己決定を促し、それを支援するプロセスを大切にする取り組みを行います。また、学校休業時には、豊かな生活が送れるような活動を提供し、友達と関わりながら、葛藤を調整する力、主張する力、折り合いを付ける力が育つよう取り組みます。なお、自分で生活する力が育つような活動を提供し、自律に向けた支援を行うように努めます。</p> <p>障害福祉サービス等事業収入当初予算額 25,730,000 円</p> |
| <p>気仙沼市マザーズホーム (保育所等訪問支援事業)</p> | <p>訪問先施設（保育所・幼稚園・認定子ども園・小学校等）や保護者との信頼関係を築くことを重視して取り組んでいきます。保育所等訪問事業の必要性やその支援内容について理解を深め地域に根付いた事業になるよう取り組み、保護者・訪問先施設の職員、障害のある子どもが地域で安心して生活していけるような支援を行うように努めます。</p> <p>障害福祉サービス等事業収入当初予算額 4,020,000 円</p> |
| <p>気仙沼市マザーズホーム (宮城県障害児等療育支援事業)</p> | <p>地域マネジャーを配置し、中核的な療育機関としての役割を担うよう努め、事業内容の周知及び地域マネジャーと連携した相談支援、地域巡回支援、研修会の開催及び家族支援を行います。また、気仙沼市と連携し、ペアレント・プログラムにも取り組み、地域で身近な療育相談の場になるように努めます。</p> <p>障害福祉サービス等事業収入当初予算額 10,440,000 円</p> |
| <p>松峰園相談支援センター (指定特定相談支援事業)</p> | <p>利用者又は保護者からの意思及び人格を尊重し、常に当該利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう配慮し、利用者の心身の状況、その置かれている環境等の応じ、利用者の選択に基づいた適切なサービスを総合的に提供するよう努めます。併せて地域で必要な社会資源の開拓にも努めます。</p> <p>障害福祉サービス等事業収入当初予算額 1,833,000 円</p> |
| <p>「つばさ」指定共同生活援助事業（介護サービス包括型）</p> | <p>利用者が地域で自立した社会生活を営むことができるよう、当該利用者の心身の状況及びその置かれている環境に応じ、共同生活住居において安心した地域生活ができるよう、相談、食事その他の日常生活の援助を適切かつ効果的に提供するよう努めるとともに、松峰園の開所日に合わせ、利用日数を増やすよう努めます。</p> <p>障害福祉サービス等事業収入当初予算額 6,160,000 円</p> |

| | |
|---------------------------------------|--|
| <p>気仙沼市ホームヘルプサービス事業所 (居宅介護)</p> | <p>利用者される方一人ひとりの状態に応じ、それぞれの心身の特性を踏まえたきめ細やかなサービス提供とより利用者の気持ちに寄り添い対応に努めます。特に、新型コロナ等の感染症に対し各種マニュアルに沿い、併せて最新の感染症情報と衛生管理に努めサービス提供を行います。</p> <p>なお、従業員の雇用の安定化及び利用者確保に鋭意努力し、事業所の安定経営に努めます。</p> <p>障害福祉サービス等事業収入当初予算額 6,121,000円</p> |
| <p>訪問介護ステーションからくわ (居宅介護、同行援護)</p> | <p>利用者個々の状況、生活及び障害の特性に合わせ、一人ひとりに寄り添った支援に努めます。また、視覚障害により日常生活に著しい困難を有する利用者においては、安心安全を心掛け、適切かつ効果的にサービス提供を行います。家族や行政等の関係機関と連携を図りながら、利用者の意思、人格を尊重しながら、常に利用者の立場に立ったサービスを心掛けます。</p> <p>障害福祉サービス等事業収入当初予算額 (居宅介護) 3,081,000円 障害福祉サービス等事業収入当初予算額 (同行援護) 2,141,000円</p> |
| <p>ヘルパーステーションもとよし (居宅介護、同行援護)</p> | <p>障害を持った方が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるよう、継続的に利用者一人ひとりの要望を丁寧に聞き取り、真のニーズを見つけ出し、研修等にも力を入れ、専門性が高いきめ細やかなサービスが提供できるよう努めます。感染症対策についても適切な衛生管理を徹底し、利用者及び家族、職員も安心して過ごせる環境を整えます。関係機関との連携を密にし、サービスへの理解が広がるよう啓発活動に取り組みます。</p> <p>障害福祉サービス等事業収入当初予算額 (居宅介護) 1,490,000円 障害福祉サービス等事業収入当初予算額 (同行援護) 2,159,000円</p> |

(3) 地域生活支援事業

障害者総合支援法に基づき気仙沼市障害者地域生活支援事業実施規則に則り、重度の障害を持つ方への移動入浴車による入浴サービスを提供します。

| 事業所名 | 内 容 |
|--------------------------|---|
| <p>訪問入浴サービスもとよし (身障)</p> | <p>住み慣れた地域で自分らしい生活が継続できるよう、利用者と家族の意向を尊重しながらサービスを提供します。心身の状況の変化に留意しながら適切な対応ができるよう研修等を活用し、サービスの質向上に努め丁寧なサービスを行います。また、関係機関との連携を密にし、より多くの方に利用していただけるよう周知活動に取り組みます。</p> <p>障害福祉サービス等事業収入当初予算額 1,219,000円</p> |

7. 在宅福祉事業

(1) 在宅福祉事業

誰もが安心して地域で暮らせるように、地域関係者の協力、連携の下で定期的な訪問

等により、高齢者世帯等の介護予防を視点を置いた支援に努め、地域包括ケアシステム構築を進めます。

| 事業名 | 内 容 |
|--------------|---|
| 移送サービス事業 | 家庭外へ移動困難な方や車両の確保が困難な方等に対し、リフト付ワゴン車の貸出行います。また、より利用しやすいサービスとなるよう検討します。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 173,000 円 |
| 在宅ふれあい型交流事業 | 地域で暮らす高齢者等の孤立予防と高齢者同士又は地域ボランティア等との交流を通して、住民同士が支え合う地域づくりを推進するため、広く事業の周知を行います。また、コロナ禍により会食事業が困難となっているため、訪問型による交流事業の実施に繋がるような呼びかけや提案を行います。 当初予算額 老人福祉活動事業の内 835,000 円 |
| 安否確認訪問サービス事業 | 一人暮らしの高齢者世帯、高齢者のみの世帯へ乳酸菌飲料の配達を通して、声掛け訪問による安否確認を行います。また、生活を支える様々な社会資源の把握に努めながら、幅広いサービス提供を目指します。 当初予算額 46,000 円 |
| 介護機器貸出事業 | 緊急を要する要介護世帯や福祉活動を行うボランティア団体、福祉教育の場等に福祉用具を貸し出し、在宅生活の支援、地域活動及び福祉教育活動の企画や参加を促進します。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 20,000 円 その他 3,000 円 |

(2) 指定介護保険事業

介護保険に関する法令等の趣旨に従い、介護又は支援を要する高齢者等が可能な限り在宅生活が送れるよう、利用者の尊厳に基づいた適切なサービス提供に努めます。

法制度の遵守と併せて地域福祉推進という本会の使命や公益性に根ざし、さらには事業の採算性に留意するとともに、サービスの質を左右する職員の資質向上に積極的に取り組み、効果的で効率的かつ安定した適正な介護保険事業経営に努めます。

①居宅介護支援事業

| 事業所名 | 内 容 |
|---------------|--|
| 一景島在宅介護支援センター | その方の有する能力に応じ、自立した日常生活を営めるよう、常に利用者の目線に立ち耳を傾け、住み慣れた地域社会で安心して生活することができるよう、適正な居宅介護支援の提供を図ります。特に、新型コロナをはじめとする感染症等に対しては、在宅生活継続の長期化が予想されることから、関係機関や行政からの支援を得ながらサービスの調整に努めます。また、管理者と各介護支援専門員との業務の相互牽制・チェック体制により、運営基準に則った適正な事業運営を図り法令遵守に努めます。 介護保険事業収入当初予算額 18,121,000 円 |

| | |
|-------------|---|
| 津谷居宅介護支援事業所 | <p>利用者の立場に立ち、介護保険事業と地域福祉推進事業の双方をつなげるとともに、医療との連携も積極的に行い、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう自立支援に向けたケアマネジメント機能の強化と充実に努めます。昨今、独居で認知症、認知症の親と介護力のない家族との同居者、癌末期などの利用者等が多くなってきていることから、本人はもとより、取り巻く環境にも支援が必要な場合も多く、適切な社会資源やサービスを活用し、生活全体を支援できるよう取り組みます。また、職員一人ひとりが信頼されるサービスを提供できるよう、更なる質の向上に努めるとともに一連のケアマネジメントプロセスに基づいた適正な居宅介護支援を行い、特定事業所加算の算定により安定した収入となるよう努めます。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 30,713,000円</p> |
|-------------|---|

②訪問介護事業

| 事業所名 | 内 容 |
|-------------------|---|
| 気仙沼市ホームヘルプサービス事業所 | <p>その有する能力に応じ自立した生活を営むことができるよう、よりきめ細やかなサービス提供に努めます。特に、新型コロナウイルス感染症等に対しては、マニュアルに沿い適正なサービス提供を図り、最新の感染症情報等を収集し、適切な衛生管理に努め媒介者とならないよう日々のサービス提供を図ります。なお、引き続き人材確保に努め、利用希望に応えうる人員体制整備と事業の安定経営に努めます。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 12,445,000円</p> |
| 訪問介護ステーションからくわ | <p>利用者が安心して地域での生活を継続できるよう、また家族の介護負担を軽減できるように、個々の声に耳を傾け、それぞれの心身の状況や希望を踏まえ介護計画書を作成し、計画書に沿ったサービス提供を実行します。地域や関係機関と連携を図り、日々更新される情報を積極的に採り入れ、感染症対策を徹底し業務に邁進します。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 17,503,000円</p> |
| ヘルパーステーションもとよし | <p>住み慣れた地域や在宅で安心して生活が継続できるよう、利用者及び家族の意向を把握し可能な限り自立した日常生活が営めるように支援します。研修を充実させ、多様なニーズに対応できる知識と介護技術のスキルアップを図ります。職員の意識を高め、各関係機関との連携をさらに充実させ、効率的で効果的かつ安定したサービス提供に努めます。感染症対策についても適切な衛生管理を徹底し、利用者及び家族、職員も安心して過ごせる環境を整えます。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 34,335,000円</p> |

③訪問入浴介護事業

| 事業所名 | 内 容 |
|--------------|--|
| 訪問入浴サービスもとよし | <p>住み慣れた地域で安心して在宅生活が継続できるよう、利用者及び家族の意向に寄り添いながらきめ細やかで質の高い丁寧なサービス提供に努め、心地よく心穏やかに過ごせるよう支援します。医療や他事業所との連携を密にし心身の変化に早期に気づき、適切な対応を行っていきます。様々なニーズに対応できるよう研修等への積極的な参加、介護技術・コミュニケーションや接遇・マナー向上等資質向上に努め、各利用者について心身状況を把握し情報共有しながらよりよいチームケアを継続していきます。また、様々な感染症の予防に対し適切な衛生管理の徹底により全ての方に安心して気分良く入浴していただけるようなサービス提供に努めます。また各職員の地域活動等への積極的な参加により、サービスの認知とともに、より多くの方に利用していただけるように意識的な周知活動を行っていきます。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 22,090,000円</p> |

④通所介護事業

| 事業所名 | 内 容 |
|--------------------|--|
| 気仙沼市燦さん館デイサービスセンター | <p>利用者の心身の状況、生活環境、本人及び家族の希望等を尊重して作成した介護計画書に基づき、利用者が有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう努め、家族の精神的、身体的負担を図ります。</p> <p>市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の基本理念に基づき、気仙沼・唐桑地域の特性を生かした質の高いサービスの提供に努めます。</p> <p>三陸道によるアクセスの利便性を活用し、送迎の可能な限り利用幅を広げ利用率アップを図ります。コスト削減については、これまでも不断の見直しを行ってきているところですが、引き続き更なる削減余地についての検証を全職員で継続して実施してまいります。また、感染症にも万全の対策を講じ、利用者、職員が施設内で感染症にならないよう取り組みます。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 65,988,000円</p> |
| やすらぎデイサービスセンター | <p>いまだ先が見通せない新型コロナ感染症ではありますが、室内外を含めた衛生管理・対策と一人ひとりの健康状態把握に引き続き努め、在宅で暮らす利用者の方が安心して通うことのできる場を提供して参ります。また、日々無理なく自然に行っている行為や動作を最大限活かせるよう、残存機能維持を主眼としたサービス活動を取り入れ、一人ひとりの支援に努めます。</p> <p>年々介護施設を取り巻く経営環境は厳しいものとなっていますが、ひとりでも多くの利用者確保に努め、経営基盤の安定に向け鋭意努力をして参ります。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 42,710,000円</p> |

| | |
|--------------|---|
| 大谷デイサービスセンター | <p>地域に開かれた施設として、利用者がいきいきと過ごすことができる環境をつくり、共に楽しみ笑顔のある安心できるサービスを提供しながら、介護者の心身の負担軽減を図ります。居宅介護支援事業所や家族、地域に利用状況や活動報告を行いながら選ばれる施設となることで新規利用者を増やすとともに、備品等の使用方法を再考しコスト削減を図り、安定経営となるよう努めます。介護や車両の事故防止をはじめ、感染対策等のリスク管理を徹底し、職員一人ひとりが資質向上研修に積極的に参加し、関係機関との連携を強化し、利用者と介護者が地域で安心して生活できる施設運営に努めます。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 35,211,000円</p> |
|--------------|---|

⑤認知症対応型共同生活介護事業

| 事業所名 | 内 容 |
|----------------|---|
| グループホーム 桑の実 | <p>新型コロナウイルス感染症の脅威の中での難しい施設運営となりますが、これまで以上に感染予防対策を講じ、入居者や家族が安心して施設を利用いただけるように努めます。入居者の健康管理を行うと同時に職員のメンタルケアにも配慮し、安定した経営を目指します。パーソンセンタードケアを実践し、認知症になっても住み慣れた地域で自立した生活を続けられるように、習得した専門知識を活用し質の高いサービスを提供し、地域に根差した施設運営を目指します。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 39,569,000円</p> |

⑥福祉用具貸与事業

| 事業所名 | 内 容 |
|---------------|--|
| もとよし福祉用具貸与事業所 | <p>利用者の心身の状況、生活環境、利用者及び家族の希望等を尊重し、安心して在宅生活が送れるよう多職種と連携しながら行い、適切な福祉用具の選定と提供を特定福祉用具販売事業と一体的に行っていきます。また、安定した経営基盤の確保に向け、利用者確保の取組みとコスト削減の見直しを継続していきます。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 13,224,000円</p> |

⑦特定福祉用具販売事業

| 事業所名 | 内 容 |
|---------------|---|
| もとよし福祉用具貸与事業所 | <p>利用者の心身の状況、生活環境、利用者及び家族の希望等を尊重し、安心して在宅生活が送れるよう多職種と連携しながら行い、適切な福祉用具の選定と提供を福祉用具貸与事業と一体的に行っていきます。また、安定した経営基盤を確保に向け、利用者確保の取組みとコスト削減の見直しを継続していきます。</p> <p>介護保険事業収入当初予算額 856,000円</p> |

8. 気仙沼市受託事業

気仙沼市との連携を密にし、さらなる受託事業の充実強化に努めます。

| 事業名 | 内 容 |
|---------------------|---|
| 生活支援型食事サービス事業 | <p>見守りが必要な高齢者に対して、定期的に訪問し食事を提供しながら安否確認を行います。また、事業内容や実施について、引き続き市と協議しながら進めます。</p> <p>当初予算額 4,316,000 円</p> |
| 生活支援体制整備事業 | <p>互助を基本とした地域の多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を推進するとともに、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、支え合いの体制づくりの充実強化を図ります。地域支え合い推進員(本会職員)と地域支え合い協力員(地区住民)を配置し、支え合いの地域づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動や社会資源の把握に努めるとともに、地域課題の共有とその解決に向け住民や関係機関等と一体となり取り組めるよう、第2層協議体(住民懇談会等)を開催します。 ・支え合い活動の支援をするとともに、必要な担い手を養成し活動に参加できるよう工夫します。 ・地域団体、関係機関等とのネットワークづくりを行います。 ・地域の支え合い活動の啓発と充実・発展を目指し、住民向け研修会等の開催や広報等による発信を行います。 ・フレイル予防と高齢者の社会参加が促進するよう努めます。 ・地域支え合い協力員の発掘と養成に努めます。 <p>当初予算額 生活支援体制整備事業 31,865,000 円</p> |
| 気仙沼市西地区高齢者相談室運営事業 | <p>気仙沼西地区の災害公営住宅及び防災集団移転団地において、高齢者等の生活再建や地域社会への復帰、自立生活を支援するため、計画的な巡回訪問による安否確認や見守り・声掛けを行います。また、コミュニティ行事等への参加勧奨等の支援により、高齢者等の閉じこもりや孤立の防止に努めます。併せて、介護予防や生活困窮等への対応等必要な援助を心掛け、関係機関等に速やかにかつ的確につなぐことができるよう、地域の拠点機関としての充実強化を図ります。さらには、生活援助員が相談等に適切に対応できるよう、研修や講義による資質向上を図ります。なお、業務推進に当たっては、新型コロナウイルス感染予防を徹底し遂行します。</p> <p>当初予算額 17,578,000 円</p> |
| 気仙沼市鹿折・唐桑地域包括支援センター | <p>唐桑地域及び鹿折地区の地域組織や関係機関との連携基盤を強化し、高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活が維持できるよう、高齢者の多様なニーズや相談に総合的に対応し、介護予防等必要なサービスを包括的・継続的に調整する地域の拠点機関として充実強化を図ります。「気仙沼市地域包括ケアシステム構築に向けたアクションプラン」に沿った取り組みを進め</p> |

| | |
|-------------------------|---|
| | <p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談支援については、関係機関と連携して支援援助の体制を強化し、高齢者やその家族のニーズ把握に努め必要な支援をします。 ・高齢者の権利擁護について、高齢者虐待への対応や成年後見制度の活用等関係機関との連携や情報共有を強化し、継続的視点を持って支援します。 ・「地域ケア会議」や「唐桑地区多職種連絡会」を通じて、地域の専門職や地域の関係者と連携しながら、高齢者の課題解決に取り組んでいきます。 ・認知症施策として、「認知症初期集中支援事業」への参加や新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じながら「認知症カフェ」等を開催し、認知症の人と家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進していきます。 ・関係機関と連携し地域の「フレイル予防」に継続して取り組んでいきます。 ・生活支援体制整備事業について関係者と連携して取り組んでいきます。 <p>当初予算額 30,578,000円</p> |
| <p>気仙沼市本吉地域包括支援センター</p> | <p>本吉地域の地域組織及び関係機関との連携をさらに進め、高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活が維持できるよう、高齢者の多様なニーズや相談に総合的に対応し、介護予防等必要なサービスを包括的・継続的に調整する地域の拠点機関としての充実強化を図り、地域包括ケアシステム構築に向けて積極的に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症初期集中支援事業や認知症サポーター養成講座・認知症家族懇談会・認知症カフェの開催等新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら、認知症について地域ぐるみの支援ができるよう地域づくりを推進していきます。 ・利用者の目標が達成できるよう、総合事業サービスの利用方法を介護支援専門員と相談しながら作成し、住み慣れた地域で自立した生活の継続に向けた支援をします。 ・安心して暮らしていくために高齢者の尊厳と権利を守っていく取り組みを進めます。 ・生活支援体制整備事業として、市が設置する協議体や地域支え合い推進員と連携しながら地域住民と交流し、みんなで支え合う地域づくりに取り組みます。 <p>当初予算額 28,200,000円</p> |
| <p>生きがい活動支援通所事業</p> | <p>利用対象者のニーズ及び身体の状態に応じきめ細やかなサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることの予防を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福寿草（気仙沼・唐桑地域） <p>13の集いを実施するとともに、各集いの参加者が心身共に健康的な生活を維持していくことができるよう、関係機関の協力を頂き、介護予防講座</p> |

| | |
|------------|--|
| | <p>等を通して一人ひとりの生きがいにつながるよう支援に努めます。さらに、集いのほかに市内高齢者を対象に介護予防事業を開催し、高齢期の健康保持と介護予防の推進に努めます。なお、生きがい活動援助員が相談等に適切に対応できるよう研修等の受講により資質向上を図ります。業務に関しては、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し取り組みます。</p> <p>当初予算額 14,729,000 円</p> <p>・いきいきデイサービス（本吉地域）</p> <p>慣れ親しんだ地域の方々との交流を大切に趣味活動などの提供プログラムの充実と専門的な健康講話などを積極的に取り入れ、生きがいづくりと支え合いの体制強化を図ります。老人クラブ及び利用者が年々減少するなか、新たな仲間づくりの機会も設定し、若年層の集客も図ります。</p> <p>当初予算額 8,399,000 円</p> |
| 家族介護者交流事業 | <p>高齢者を介護している家族に対して、介護者相互の交流を図り、介護者を介護から一時的に開放し心身のリフレッシュを図ります。</p> <p>また、交流等を通じて介護に対する課題の把握や解決に向けて支援します。</p> <p>年4回実施予定（気仙沼地域2回、本吉地域2回）</p> <p>当初予算額 641,000 円（うち交流事業分 598,000 円）</p> |
| 家族介護者教室事業 | <p>高齢者を介護している家族等に対し、家族介護教室を通じて、要介護高齢者に関する知識を学ぶことで、介護の負担軽減、状態の維持・改善を図り、在宅生活の質の向上を図ります。年2回開催予定。</p> <p>当初予算額 641,000 円（うち教室事業分 103,000 円）</p> |
| 外出支援サービス事業 | <p>リフト付車両及びビストレッチャー装備ワゴン車等により、利用者の居宅と医療機関及び在宅福祉サービスを提供する場所等との間の移動を支援します。</p> <p>当初予算額 197,000 円</p> |

9. 団体事務

各種団体の事業支援とともに、自主的に活動ができるよう体制整備を支援します。

| 事業名 | 内 容 |
|------------------------|--|
| 気仙沼市民生委員児童委員協議会 | <p>民生委員制度について、広く住民への理解を得られるよう周知に努めていくほか、行政担当課と連携しながら事務手続きを進め、各地区民児協運営の支援など民生委員児童委員活動の円滑な推進を図ります。また、12月1日に一斉改選が行われることから、滞りない事務処理等に努めます。</p> |
| 本吉ブロック民生委員児童委員協議会連絡協議会 | <p>宮城県民児協が位置付けしている広域ブロックとして、南三陸町民児協との相互交流や連携を図り、圏域の課題共有とともに課題解決に向けた取り組みを推進し、ブロック内の民生委員・児童委員活動の活性化と相互交流を支援します。また、事務委託契約を締結し、適正な事務処理に努めます。</p> |

| | |
|----------------------|--|
| 気仙沼市共同募金委員会 | 共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）に対する住民の理解と協力がより一層得られるよう、様々な機会を活用した広報等の周知に努めながら、募金活動を推進するとともに、適切な配分と援護活動に努めます。 |
| 気仙沼市ボランティア連絡会 | 気仙沼市内のボランティア団体間の情報共有と連携を図るとともに、地域活動の一層の充実のための知識と技術を得る研修等の開催を支援し、ボランティア活動を推進します。 |
| 気仙沼市老人クラブ連合会 | 老人クラブ活動の活性化を図り、老人クラブ連合会事務の適正な運営に努めます。健康づくり、友愛活動、奉仕活動の積極的な推進と会員増強運動に取り組むとともに、各機関・団体等と連携し組織の基盤強化を進めます。また、女性リーダーの育成と各専門部活動の充実強化を図ります。 |
| 本吉町老人クラブ連合会 | 心と体の健康づくり、友愛活動、社会奉仕活動への積極的な推進と会員増強運動に取り組みながら、各関係機関や団体等と連携し、クラブ組織の基盤強化を進めます。また、女性リーダーの育成と女性部活動の充実を図り、会員が生きがいある豊かな生活の実現ができるよう事業運営の支援に努めます。 |
| 本吉地区遺族会 | 気仙沼市遺族会との連携を密にし、英霊の顕彰と慰霊に関する事業、戦没者遺族の相互扶助、会員の各種相談及び援助に関する事業などを実施しながら、団体の適正な運営支援に努めます。 |
| 気仙沼市本吉地区小規模法人連携事業協議会 | 地域の様々な福祉課題の解決と地域福祉推進に向け、本吉地域内の5法人が連携・協働し地域貢献事業の一環としての協働事業の試行、事業実施に必要な合同研修や職員交流等の取り組みを推進します。 |